

快晴の空の下 神奈川私学のつどい 2,000名を集める

埼玉県私立高校フェスティバルと同日、神奈川県横浜市中区桜木町では神奈川私学のつどいが開催されました。みなとみらい地区をめざす大勢の方が足を止め、私学の高校生の演奏・演技に目を向け、私学の学費問題についての訴えを聞きました。

神奈川私学のつどい 授業料軽減「運動の成果」

生徒、保護者ら助成求め参加



部活動を披露する生徒と参加者＝5日、JR桜木町駅前

神奈川県内の私立学校
の教員や保護者らで
つくる「神奈川私学助
成をすすめる会」と神

奈川私学のつどい実行委員会は5日、横浜市のJR桜木町駅前で行った。市民などが参加しました。すずめる会の長谷川正利代表があいさつ。学費負担の軽減を求めたことを紹介し、衆院選で全ての政党が学費無償化を公約にしたことは「私たちが毎年少しずつ重ねてきた署名運動の成果だ」と強調。東京都が私立高校生の授業料を軽減する特別奨学金を大幅拡充したことによれば、神

奈川でも私学助成の拡充を実現するために力をつくす決意を述べました。県内の私立学校の生徒が、和太鼓や琴、バンドの演奏など部活動を披露しました。日本共産党から、畑野君枝衆院議員、大山奈々子、木佐木忠晶の両県議があいさつしました。

畑野氏は国会で文部科学委員として、学費負担の軽減に取り組んでいることを紹介。神奈川県でも遅れていることを指摘し、「国と県が力を合わせて私学を無償化し、公立と私立、地域の格差をなくすために頑張りたい」と話しました。

国と県に私学助成の拡充を求める署名に応じたカード・ジュリア・さやかさん(34)は「横須賀市は『私学無償化の運動があることを初めて知った。中学時代の友達に、私と同じ私立高校に通いたくても学費の問題で行けなかった人がいる。制度を整えることは大事です」と話していました。日本共産党の志位和夫委員長、田村智子副委員長、参院議員、県議団がメッセージを寄せました。